

ビデオテープの映像が失われてしまう——緊急フォーラム実施

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント

【緊急フォーラム】

マグネティック・テープ・アラート：

膨大な磁気テープの映画遺産を失う前にできること

いつもお世話になっております。国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」（10月27日）記念特別イベントとして、磁気テープの保存に警鐘を鳴らす緊急フォーラム「マグネティック・テープ・アラート：膨大な磁気テープの映画遺産を失う前にできること」を開催する運びとなりました。

フィルムからデジタルへの緩やかな移行期といえるこの50年間は、磁気テープの時代でもありました。プロの映画人からアマチュアまで無数の人が、映画はもちろん、地域や職場、家庭で多様な記録映像を生み出しました。

それらの膨大なビデオテープの映画・映像は、2025年までにデジタルファイル化されなければ、永遠に失われかねない——という、ユネスコの警告をご存知ですか？国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベントでこの問題に向き合います。ぜひとも周知のご協力を賜りますと幸いです。



ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント

In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage

【緊急フォーラム】 マグネティック・テープ・アラート：膨大な磁気テープの映画遺産を失う前にできること

Magnetic Tape Alert: What You Can Do Before We Lose the Huge Amount of Films on Videotape

日時：2021年10月16日（土）2:00 pm 開始（1:30 pm 開場） 4:25 pm 終了予定

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール O Z U

主催：国立映画アーカイブ

協力：日本映画監督協会

H P：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/unesco2021/

（参加は事前申込制です【申込フォームのみ】10月1日（金）16時より受付開始。詳細は上記HPをご覧ください）

料金：無料

定員：155名（事前申込制）

*新型コロナウイルス感染症への対応のため、定員に変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

※イベント概要は次頁に掲載しています。

【本件に関する取材・お問い合わせ】国立映画アーカイブ「マグネティック・テープ・アラート」担当（富田・吉田）

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830/E-mail：pr@nfaj.go.jp

プログラム（予定）

2:00pm 開会挨拶

2:05pm ビデオレクチャー「Deadline 2025 について」＊日本語字幕付き

ユネスコと国際音声・視聴覚アーカイブ協会（IASA）が発した“Magnetic Tape Alert Project”（2019 年 7 月～）に先鞭をつけ、磁気テープの音声・映像は 2025 年までにデジタル化しなければ永遠に失われてしまう、と問題を提起したオーストラリア国立フィルム＆サウンドアーカイブ（NFSA）のキャンペーン「Deadline 2025: Collections at Risk（危機に瀕したコレクション）」（2015 年 10 月～）を解説します。

【講師】

ミハエル・レーベンシュタイン Michael Loebenstein （オーストラリア映画博物館長、FIAF 事務総長、オーストラリア国立フィルム＆サウンドアーカイブ前 CEO）

2:20pm トークイベント「磁気テープ映画原版の保管状況と課題」

最も喫緊性の高い「磁気テープの映画原版」を中心に、独立プロダクション、映画制作教育機関、公立フィルムアーカイブの報告から、デッドラインまでの限られた時間の中で“今できること・すべきこと”そして“課題”を検討します。

【登壇者】

押田興将（オフィス・シロウズ代表取締役）

奥野邦利（日本大学芸術学部映画学科教授）

松本圭二（福岡市総合図書館文学・映像課 映像管理員）

司会 富田美香（国立映画アーカイブ主任研究員）

3:10pm 休憩

3:20pm 「わが映画人生 ダイジェスト・特別編」（10 分）DVD 上映

映画 100 年、日本映画監督協会 50 周年を機に、「先輩監督の貴重な証言を磁気テープにおさめ、監督協会に永久保存する」と、当時の第一線の監督たちが手弁当で作ったインタビュー映画シリーズ（1988 年～）を、磁気テープの貴重な映画遺産の例として紹介します。

【挨拶】崔洋一（日本映画監督協会理事長）

3:35pm トークイベント「磁気テープ映画のデジタルファイル化と保存について」

再生機の保守サービスが 2023 年 3 月終了と明らかになった 2014 年以降、危機回避に向けて多様な分野におよぶ磁気テープ保管者に積極的にデジタルファイル化を働きかけてきたポスト・プロダクション、ラボ、倉庫会社の報告を中心に、国内の現状、マイグレーションまで含めた保存のあり方を検討します。

【登壇者】

鈴木伸和（株式会社東京光音、視聴覚アーキビスト）

藤原理子（株式会社 IMAGICA エンタテインメントメディアサービス メディア営業部 フィルム・アーカイブ営業グループ）

緒方靖弘（寺田倉庫株式会社アーカイブ事業グループ）

司会 三浦和己（国立映画アーカイブ研究員）

4:25pm 終了

【本件に関する取材・お問い合わせ】国立映画アーカイブ「マグネティック・テープ・アラート」担当（富田・吉田）

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830/E-mail：pr@nfaj.go.jp